

## 緑化樹として需要の拡大している山採り主体の樹種における生産技術の確立

### 【背景と目的】

近年、公共工事の減少により緑化植物の需要は減少している。一方、民間の再開発地等で需要が増大しているアオダモ等の樹種は山採り由来の苗木を生産圃場で栽培した際の生育不良や、資源の減少により苗木の入手が困難になる事例が見受けられる。そのため、安定的な生産に向けた基礎的な繁殖技術や効率的な栽培技術を確立する。また、それらの樹種において、生育や樹姿等に優れるとともに、都内の生産環境にも適合する母樹候補の選抜を行う。

### 【研究概要】

#### (1) 山採りが主体の樹種の繁殖・栽培技術の確立

##### ①繁殖技術の確立

山採りものが中心で、需要の増大とともに苗木の入手が困難になっている樹種や適切な繁殖方法が不明な樹種について挿し木繁殖、種子繁殖方法を検討する。

##### ②栽培技術の確立

上記樹種について、適切な土壌条件・光条件等を明らかにし、効率的に栽培できる技術を確立する。

#### (2) 優良母樹の選抜

生育や樹形等に優れ、都内の生産環境に適合した母樹候補を、1樹種につき複数個体選抜する。